

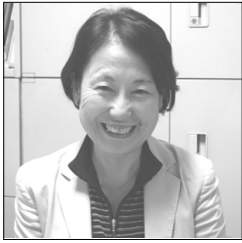
報告「介護の切り捨てアカン！ みんなの大集会」

介護保険法など改悪法案通過 断固抗議！

介護保険法などの改悪案が衆議院厚労委員会で強行採決され参議院では野党の追及もおおざなり、メディア報道もほとんど無いまま成立させられた。

五月十二日、港合同としても力を入れた「介護の切り捨てアカン！みんなの大集会」の中で、特別講演者の服部万里子さん（日本ケアマネジメン

ト学会 副理事 長）は 「この ままで



いいのか介護保険「改定」の問題点とこれからの介護を考える」と題し、法改悪の重大な問題点、卑劣な介護・福祉切り捨てやり口を全面的に暴露、鋭く批判し警鐘乱打した。介護の切り捨ては命の切り捨て。改悪案が通ったからと諦めれば悪い流れは加速するばかり。政府は私たちの暮らしと命はどうしようとしているのか、如何に立ち向かっていけばいいのか、学びを重ね、総がかり行動を

改悪点がテニコ盛り 今回の法改悪は、①一定収入以上の場合、自己負担三割を導入。②「自立支援」の名の下、自治体に要介護認定率の引き下げやサービス利用縮小を競わせ、成果により交付金に格差をつける。③介護医療院の創設。医療病床を削減し財源を医療から介護へ移行。医療よりの介護が格段に安上がり、税負担を減らせる。④「地域共生型社会」の名の下、公的介護保険を

縮小し、介護の責任を自治体に、住民に（「あなただに」押しつける。共生型サービスと称し、障害者福祉・児童福祉の事業所が介護保険の訪問介護やデイサービスをできるようにする。財源を「税金による福祉」から介護保険に移す狙い。中味が全く異なるサービスをいっしょくたにすれば現場・担い手は大混乱。サービスの質の低下、リスク増大は必至だが誰が責任とるのか？ その他まだまだあるが以下は略す。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

盛り沢山の講演と発表

五・一二集会は、北区民ホールに三七〇人が集い、賛同も六六〇団体・個人を超えた。介護や医療関係者、労働組合関係者、さまざまな社会保障の当事者団体の方々、弁護士、学者、地方・国会議員など、幅広い分野の皆さんからエールと参加を頂くことができました。

集会では、服部万里子さん特別講演の他、大阪府の全ての市町村で始まった**介護保険総合事業**（要支援者に対する訪問・通所介護の事業）の問題点

について、大阪社会保障推進協議会・介護保険対策委員長の日下部雅喜さんが報告した。

リレートークでは、①

最悪の総合事業を行って
いる大東市の介護現場から看護師が実態を報告し、
②「認知症の人と家族の会」からは、京都で開催された国際会議の報告があり、③阿倍野区のNP
O法人の方は、住民と

もに介護保険改悪反対に
取組み、数千の署名を集
めたことなどを報告、④
西成区で訪問介護に従事
しているケアワーカーズ
ユニオン・やまき分会の
中尾さおりさんは、高齢

者が地域で暮らしていく
上で訪問介護がいかに大
切か、それを切り捨てる
改悪は絶対にアカンと訴
えた。（左下写真）

国会から福島瑞穂（社

民党）・辰巳孝太郎（共
産党）各議員が駆けつけ、
辻元清美議員（民進党）
からはメッセージが。近
畿の自治体議員も多数参
加、「大変勉強になった」
との感想も頂いた。

盛り沢山で中味が濃す
ぎて「疲れたあ〜」とい
う方も多かったかも？け
ど「介護が大変なことこ
なる！」「自分たちのこ
となのに、市民不在、や
やくしくて理解できない

ことが勝手に進められて
いる」という感想はほぼ
共通して持たれたのでは
ないでしょうか。

介護保険の目的変更

服部さんの講演では、
介護・医療・福祉全般の
切り捨てが一体的に進ん



でいることが詳細に報告され、根本的な批判が展開された。これを短くまとめることはとてもムリ！なので、今回から何回かに分け、内容を噛み砕いて報告したいと思う。

最初に、改悪案が「介護保険の目的を変更している」という批判点について報告する。

そもそも介護保険の目的は、「要介護状態」と認定された人が、「可能な限り、居宅において、もっている能力に応じた自立した日常生活を営めるようにする」とことと定められている。改悪法は、法の目的を「介護度の改

善」に変更している。その前提として「自立」を「介護を受けず生活する状態」と捉えている。服部さんは「『介護度改善』が介護保険法の目的とはどこにも書いてない」と、語気を強めて批判された。

「介護度改善」「自立の強要」が招く悲劇

改悪法は、各自治体に介護度改善・給付削減（サービス利用の制限）を競わせ、実績によって交付金に差をつける（金で誘導）としている。

するとどうなるのか？ 次の様な悲劇がうまれる。

■市町村は、◎認定を厳しくする。◎介護サービスをなるべく使わせないサービス計画を「模範的」として、これをケアマネジャーに指導し強制する。

■介護事業者は「介護度改善」を見込める利用者を選別していく。重い慢性病や高齢のため「改善できない」人を敬遠する。

■「自立」の強要は虐待に通じる。介護度が高い、改善しない者にはダメ、不良という価値観、介護を必要とする人を攻める意識を植えつけていくから。

■利用者は必要な介護を取り上げられ、◇無理をしてみせまい転倒や怪我、病気の悪化を招く。◇デ

イサービスなどの楽しみ・生きがい・行き場を奪われ、引きこもりや寝たきり状態に陥りやすくなる。

☆ ☆ ☆

こうして利用者・介護者・市町村・ケアマネジャー・事業者、みんなが追い詰められていく。何の為に？ 誰の為に介護保険か！？

ここで三句

老人に 筋トレせよと
ムチ打つ君（くに）

いつまでも

介護求める 不良老人
早く往きたし 極楽浄土

保険料 だけが上がって
介護なし

サギ撲滅を みんなの力で

南労会支部